

令和7年度 学校関係者評価について

評価項目	評価観点や実践例	ご意見欄	
児童	学習・運動・生活 挨拶・交通安全 登下校・休日の様子等	よさ	明るく元気に挨拶ができ、登下校時のヘルメット着用も定着している。 下校時に園児に優しく声をかけたり手を振ったりする姿が見られる。 タブレット端末を道具として使いこなし、学習に活用できている。
		気になる点	登下校中、遊びながら歩くなど危ない様子が見受けられることがある。
学校行事	入学式・卒業式 運動会・バス遠足 修学旅行・音楽会等	よさ	運動会（半日開催）や修学旅行などの実施形態、式の時間設定が適切である。 授業参観や公開授業において、集中して学習に取り組む姿やデジタル機器を扱う姿に感心した。
		気になる点	
PTA活動	授業参観・運動会 樹木消毒・除草作業 役員会・交通指導等	よさ	草刈り作業などの負担が少なくなっている。
		気になる点	立哨当番の減少や、役員の負担（ヘルメット着用への声かけ等）が課題である。
地域との連携	里むすめ・ワカメ栽培 昔の遊び・囲碁ボール JA里浦祭り等	よさ	地域の方々との触れ合いを通じて、子どもたちに強い地元愛が育まれている。 認定こども園との日常的な自然な交流が行われている。 昔の遊びなどの伝承行事が、子どもたちにとって新鮮な体験となっている。
		気になる点	参加希望型の行事において、子どもたちの参加が少なくなっている。
防災安全教育	交通安全教室 いのちを守ろう集会 里浦町避難訓練	よさ	毎年の体験（交通安全教室等）により、身を守るルールが身についている。 津波避難訓練において、迅速な行動と集中して話を聞く姿勢が見られた。
		気になる点	海に近いため常に防災意識を持つ必要があり、訓練への保護者参加や、避難場所到着後の行動・規則作りについても検討の余地がある。
学校施設	校舎・体育館 プール・運動場 駐車場・遊具等	よさ	施設が大切に使用されており、校門付近のひび割れなどの危険箇所も適切に対応されている。
		気になる点	プールの回数が少ないことや、プールの老朽化が懸念される。 体育館のトイレが使いにくい。
教職員	管理職の指導 児童への愛情や指導力 社会性・外部対応等	よさ	教職員と子どもたちの距離が近く、良好な関係性が築かれている。 早朝から遅くまで熱心に業務に取り組んでおり、授業での指導やアドバイスも適切である。
		気になる点	
その他、自由記述欄		<ul style="list-style-type: none"> 1月の公開授業では、1年生が自信を持って説明し、高学年が友達と相談しながら主体的に学ぶ姿に感銘を受けた。 小学生は園児にとって優しい憧れのお兄さん・お姉さんであり、幼小接続の視点での連携深化が期待される。 報道などを通じて先生方に囲まれた児童の生き生きとした様子が伝わっており、今後の成長が楽しみである。 友人づくりや善悪の判断など、人間としての基本部分を小学校生活の中でしっかり育ててほしい。 	